【閻魔詣】 今年も八月十六日に開催

予　告

閻魔大王（江戸時代作）

夏の夜の思い出を閻魔詣で

開催時間：午後一時～八時（予定）、駐車場あり

大日堂修復の一助になればと始めた閻魔詣ですが、今年も例年通り八月十六日に開催の予定です。

閻魔詣とは、昔から、お盆の最終日の八月十六日には地獄の釜のふたが開き、罪人が責めを免れると伝えられ、閻魔様をお参りし、無病息災、延命長寿の祈願をする日とされています。

紙芝居、例年通り

毎回行なわれている閻魔詣にちなんだ「紙芝居」ですが、今年も開催予定です。この「紙芝居」を鑑賞してから閻魔堂に行くと、閻魔大王様から特別なご加護があるかもしれません。場所は大日堂本堂の右横の予定です。

境内に入る道順　元のルートへ

ところで、仁王門の屋根の修復が昨年末に終りましたので、大日堂の境内に入るルートを、四年ぶりに仁王門の下を通る元のルートに戻します。

仁王門を通るルートに変更（写真は四年前）

しかし、残念ながら、二王像の修復が終わっていませんので、二王像を見る事は出来ません。来年にはお戻りになる予定です。

御朱印は閻魔堂で

当日、閻魔堂では、宝蓮寺の東島住職により閻魔詣の特別な御朱印を書いて頂けます。

昨年の閻魔詣の閻魔堂の様子

夏の思い出作りにご家族で是非ご来場下さい。お待ちしています。

当日限定の御朱印となりますので、是非、ご来場いただき、御朱印を頂いて下さい。

そして例年通り、千金丹もご用意して、お待ちしています。

さて、閻魔詣に夕闇の迫る頃、皆様からご寄付頂いた提灯に灯が入り、境内は幻想的な雰囲気に包まれます。

今年も提灯に加え、のぼり旗のスポンサーも募集しています。
お申込みは事務局まで

仁王門、屋根の修復が終了

前号の「いらか」でもお伝えした通り、一昨年の七月より開始した仁王門の屋根の修復が、追加工事を含めて昨年末に終了しました。

今回の修復工事は、横浜市にある、（有）伽藍工舎に施工して頂き、費用面では、国の『高付加価値化された文化財への改修・整備促進事業』の助成金を活用させて頂きました。

↑修復が終わった仁王門の表側

↓裏側から見た仁王門

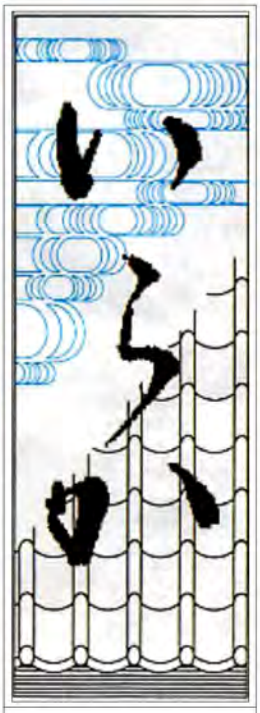
さて修復を終えた仁王門の屋根は、全てガルバリウム鋼板で葺き替えられ、大棟の両端には大鬼が、下り棟などには小鬼が取り付けられました。また、大棟への葵の御紋ですが、屋根の強度を増す為に横木を入れたので、その分、大きさを小さくして取り付けました。

やっとこれで、来年、二王像が戻ってきても雨漏りの心配のない仁王門になりました。

これもひとえに皆様のご協力のおかげです。感謝申し上げます。

≪大日堂≫　これからの特別・一般公開予定

7月　5日：月例一般公開　9:00～15:00
8月　2日：月例一般公開　9:00～15:00
16日：閻魔詣　13:00～20:00
9月　6日：月例一般公開　9:00～15:00
10月　4日：月例一般公開　9:00～15:00
11月　1日～ 5日（予定）：特別公開　10:00～15:00
12月　6日：月例一般公開　9:00～15:00
1月　1日：元旦公開　9:00～15:00



－令和８年７月号－
――編集・発行――
ＮＰＯ法人
はだの大日堂保存会
広報啓発事業部
編集室/秦野市蓑毛674
－TEL/0463-81-3528－

[No. 28]

大日堂本堂　屋根修復を早急に

大日堂本堂の屋根の状況ですが、前回もお伝えしたとおり、堂内の雨漏りも二箇所になってしまい、一刻も早い修復作業が必要となっています。

現在の大日堂の状況

そこで、四月中旬、仁王門の屋根を修復をして頂いた、（有）伽藍工舎に雨漏りの応急処置として屋根の補修と点検をしていただいたところ、以下の様な状況との事でした。

【補修】

屋根の西側の（雨漏り部分と思われる）二箇所と、北西の隅棟に、上から接着剤のついたシートを貼った。一年位は持ちそうとの事です。

西側の屋根と隅棟にシートを貼る

西側の屋根と隅棟に貼ったシート

【点検】

①屋根北西部の側柱（がわばしら）が、上部の頭貫（かしらぬき）あたりで割れていた。（雨漏りと動物、腐敗が原因）

②堂宇の北西部の上の支輪（しりん）が腐敗し、その下の通し肘木（ひじき）も腐敗している。現在、肘木は斗栱（ときょう）が支えるが、肘木が折れたら一気に崩落する恐れがあるとの事。また《以前見た時より、劣化が進んでる》との事です。

北西部上の支輪と通し肘木が腐敗している

③堂宇周囲の濡れ縁（特に西側。地長押（じなげし）も含めて）が、雨天時に水が溜まる。↓劣化防止の対策として、塗料を塗る必要があり、防腐剤を塗れば数年は持つとの事。

④屋根の軒下の十四個の蟇股（かえるまた）の塗装が落ちてきたが、プロに任せないと修復不能になってしまう。

早急な修復に向けて

さて、以前にも、大日堂本堂の屋根瓦はいつ落ちてきてもおかしくない危険な状態との指摘があったのですが、今回の補修と調査をしていただいて、再度、早急に修復を行う必要がある事を再認識させられました。

ですが、屋根の修復には約三千万円の費用が必要な為、現時点では資金が十分な状況ではありません。ついては、引き続き、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いします。

ご寄付のお願い

お陰様で昨年度は修復基金として、2,998,268円を積立てる事ができました。そして、4,800,000円を二王像修復と大日堂本堂の外壁・建具の修理、仁王門の屋根修復費用に充てる事が出来ました。これも皆様の温かいご支援のおかげです。今後は、主に大日堂本堂の屋根の修復の為に、皆様からのご寄付、ご協力をお願いいたします。修復資金のご協力は直接会員にお届けいただくか、お振込みの場合は下記のゆうちょ銀行、又は横浜銀行の口座へお願いします。

ゆうちょ銀行：（ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方）
【記号】１０９３０　【口座番号】３１２４９８４１
横浜銀行：【支店名】 秦野支店 【店番号】６６１
【預金種目】普通預金【口座番号】６２３０５６０
【口座名義】特定非営利活動法人はだの大日堂保存会
〔トクヒ）ハダノダイニチドウホゾンカイ〕

ご寄付に感謝

昨年度もたくさんのご寄付を頂き、ありがとうございました。頂きましたご寄付は、大日堂にあります建物、仏像の修復の為に、大切に使わせていただきます。

昨年度ご寄付を頂きました方は、下記の通りです。

（順不同）

・小泉　孝　様　・相原　久子 様　・内山　亮三　様
・芦川　栄晃 様　・栗田　健志 様　・市川　邦雄 様
・佐藤 孝枝、真、美枝、祥一　様　・山崎　道夫 様
・岡部　武史 様　・古谷　信行 様　・小泉　俊　様
・伊藤　佑毅、秀子 様　・みのげ　ろんご会 様
・写経会　南城会 様　・唐澤　章、時子様
・石川信一郎 様　・遠藤　理人 様　・湯田　務　様
・福島　雅江 様　・高橋　幸江 様　・柳川　実　様
・山路　麻子、史子 様　・（株）トム企画 大庭 様
・関東警備システム 代表取締役　北村まり子様　様
・アーカス湘南ロータリークラブ　様

上記以外の方々からも、多くのご寄付・募金を頂いています。

ご案内

☆はだの大日堂保存会　ホームページ
--> http://www.minoge-bunka.org
--> 検索サイトから
「はだの大日堂保存会」で検索
☆お問い合わせ　メールアドレス
--> info@minoge-bunka.org
☆お問い合わせ　電話番号
--> 0463(81)3528
（事務局　宝蓮寺内）

「はだの大日堂保存会」のホームページ　インスタグラム　QRコードです。

今年2/7の雪の翌日に撮影した大日堂

編集後記

暑い夏に向けて、雪の大日堂は如何ですか。